

ショパン

ノクターン

F.Chopin: Nocturne

ベートーヴェン

ソナタ 第23番 ヘ短調 op.57 「熱情」

L.v.Beethoven: Sonate für Klavier Nr.23 op.57 "Appassionata"

ソナタ 第8番 ハ短調 op.13 「悲愴」

Sonate für Klavier Nr.8 op.13 "Pathétique"

ソナタ 第14番 嬰ハ短調 op.27-2 「月光」

Sonate für Klavier Nr.14 op.27-2 "Mondschein"

ベートーヴェンに挑む
"ピアノ界のプリンス" ユンディの新境地!

ユンディ・リ

ピアノ・リサイタル

Yundi Li

© Uli Weber

2014 **11/8** (土) PM2:00

愛知県芸術劇場コンサートホール

S ¥14,000 A ¥11,000 B ¥9,000
C ¥7,000 D ¥5,000 学生 ¥3,000 (税込)

学生券
ご希望の方は往復ハガキに、希望公演名、公演日時、住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学籍番号を明記の上、中京テレビ事業「学生券」係までお申込みください。公演の3週間前に抽選の上、お席をお取りできるか否かご連絡致します。往復ハガキ1枚につき、1公演1名様をお願い致します。

■プログラム内容等変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
■未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。

中京テレビ 45ch 主催：中京テレビ放送 企画・運営：中京テレビ事業

お問合せ お申込み 中京テレビ事業 ☎052-957-3333

〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル6F (月~金 AM10:00~PM5:00 / 土・日・祝日休業)

<http://cte.jp> 中京テレビ事業 検索

5/24(土) 発売開始
AM10:00~

座席表からお席をお選びいただけます!

中京テレビ事業チケットセンター	052-320-9933
チケットぴあ(Pコード 223-429)	0570-02-9999
ローソンチケット(Lコード 46504)	0570-084-004
愛知芸術文化センター-PG	052-972-0430
栄プレチケ92	052-953-0777
E+(イープラス)	eplus.jp
名鉄ホールチケットセンター	052-561-7755
中日サービスセンター	052-263-7282

他 有名プレイガイド

世界各地で絶賛のツアー、いよいよ名古屋に!

ベートーヴェンの3大ソナタを携えた新たな出発

音楽ライター 片桐卓也

日本では不惑ほど注目されない言葉だが、「論語」では30歳を而立と表現する。孔子はこの歳までに学問の基礎を固め、30歳で独り立ち出来るようになった、と書かれている。それに当てはめると、ユンディ・リもその而立の歳を超え、演奏家としてますます発展する時期に入ったということになる。いや、ショパン国際ピアノコンクールでの衝撃的な優勝の時に、すでに完成した演奏家としての相貌を見せていた若者は、その時点で弱冠ではなく而立の時を迎えていたのかもしれない。しかし、ユンディ自身が語ったように、そのコンクール優勝という栄誉に溺れることなく、ドイツに留学して研鑽を積んで来たことは、いまの本当の而立の時期にとても役立っていると思う。

その証拠が、ベートーヴェンのピアノ・ソナタの録音である。

2012年9月に日本でリリースされたベートーヴェンの作品集は、「悲愴」「月光」「熱情」という3大ソナタを収録したものだった。そこには独自の音楽を模索し続けて来たひとりのピアニストの見事な達成が刻印されていた。主にショパンを弾き続けて来た20代を経て、ピアニストとしての新たなステップをあげるユンディ・リの姿は、多くの音楽ファンに訴えかけた。

磨き抜かれたそのピアノの音色によって、ショパンの世界に新たな叙情をもたらしたユンディ。そしてその音色の魅力はそのままに、より情熱的に音楽の中に没入する姿勢を感じさせたベートーヴェンの録音。それを、ようやくライブで聴くチャンスがやって来たのだ。今回のリサイタルではショパンのノクターンに続き、ベートーヴェンの3大ソナタを全部演奏する。ユンディ・リの新たな世界を体験しよう。



【ユンディ・リ】

ユンディは、世界的な名声を誇るピアニストであり、「中国のショパン」という異名も持つ。1982年、中国の重慶生まれ。彼の世代のピアニストの中ではロマン派演奏の代表的名手であり、中国ピアノ界のトップ・ピアニストと言われている。18歳の頃、世界の音楽シーンに登場したユンディは、第14回ショパン国際ピアノ・コンクールで史上最年少、また中国人としては史上初めて優勝した。彼の演奏は、「上品で、かつ繊細、そして詩的な厳格さを併せ持つ(ニューヨーク・タイムズ)」と評され、カーネギーホール(ニューヨーク)、ベルリン・フィルハーモニー(ベルリン)、サントリーホール(東京)、ロイヤル・フェスティバル・ホール(ロンドン)、サルブレイエール(パリ)など世界有数のコンサートホールで行われるコンサートでは常にチケットが入手困難となっている。これまで、ベルリン・フィルハーモニー、ウィーン・フィルハーモニー、フィラデルフィア管、シカゴ響など世界の著名なオーケストラに招かれ、小澤征爾、ロリン・マゼール、グスターヴォ・ドゥダメル、ワレリー・ゲルギエフ、ジェイムス・レヴァイン等の指揮者と共演している。11枚のCDとDVDが、ドイツ・グラモフォン、EMIからリリースされている。ユンディは、中国人ピアニストとして初めてマダム・タッソー 蠟人形コレクションに名を連ね、またアメリカでは外国人ピアニストとして初めて「ウォール・ストリート・ジャーナル」の表紙を飾った。2010年、ポーランド共和国文化勲章「グロリア・アルティス」ゴールドメダルを受賞。2011年、中国人ピアニストとして初めてケンブリッジ大学でピアノ・マスタークラスを行った。これまでのユンディの功績は、現在中国の学校教材の中で紹介され、子供達に夢を与えている。